

本康歯科ニュース



「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった!!」と思ってもらえる歯科医院めざして!!

最近大々的にマスコミ報道された小児歯科治療時の死亡事故症例を集めてみました。

1996年8月、3歳男児、歯科治療のため麻酔、数分後に、嘔吐物が気管に詰まって呼吸停止を来し、2日後に死亡。

2000年6月、2歳女児、麻酔下での歯科治療後に心肺停止に気づき、搬送されるも5日後に死亡。

2002年6月、4歳女児、麻酔下での20分の歯科治療後に女児の急変に気づき救急車を要請。搬送先の病院にて死亡が確認された。死因は麻酔によるアナフィラキシーショックの可能性が高いとされている。

2006年7月、2歳男児、歯科治療中に起きた舌根沈下による気道閉鎖のため窒息死。

2007年7月9歳女児、全身麻酔下での歯科治療中に心肺停止。約6時間後に死亡。死因は急性心不全。

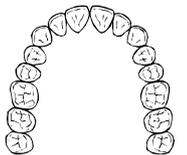
2010年6月2歳女児、転倒により脱臼した上顎前歯の固定処置中に、ロールワッテが口腔内から咽頭喉頭部へと落下し、気管内に誤嚥され気道閉鎖をきたし、翌日死亡した。

とてもいたたまれない事故が歯科治療中に起こっています。皆様にご理解してほしくて批判が起こるのを承知で、今回この内容にしました。これは氷山の一角であると思いますが、皆様は上記についてどう思われますか？明日はわが身ではないですが、次はもしかしてうちの子が・うちの孫が……。歯科治療で命を落とされた小児のこれらの事故を無駄にしてほしくないから心を鬼にして、声を大にして言いたいです。しっかり定期健診を行い予防に通われている親子さんが最近増えています。その一方で痛がる時だけに連れて来て、治療が終われば終了。その後、再度痛くなるまでほったらかしの親がまだまだたくさんいます。このご時世色々忙しいと思いますが、1.2ヶ月に1度、30分間ほど歯科医院に検診・予防に連れていけないほど忙しいですか？歯科治療は危険となりあわせです。お子様の命を守るために、お知り合いにそんな方がいるようであれば教えてあげてください。地域のみんなで次の世代を担う子供達を守っていきましょう。

あなたも“^つ歯科通”になれる…!?

?? 歯医者が出題する“歯とお口”のクイズ ??

人間の上あごと下あごには、弓のようなアーチ形で歯が並んでいます。
乳歯（子どもの歯）は通常、生後6カ月頃から生えはじめ、3歳頃にはすべて生えそろいます。そして、6歳頃になると徐々に乳歯が抜けはじめ、永久歯（大人の歯）へと生え変わりはじめます。さて、ここでこんな問題を出題!



『乳歯』と『永久歯』は、それぞれ全部で何本生えてくるでしょう？下の4つの中から選んでみて下さい。（ただし、“^{おやし}親知らず”は本数に入れないものとします）

- 1  乳歯は全部で10本、
永久歯は全部で20本生える
- 2  乳歯は全部で15本、
永久歯は全部で25本生える

- 3  乳歯は全部で20本、
永久歯は全部で28本生える
- 4  乳歯は全部で25本、
永久歯は全部で30本生える